

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

会社名	株式会社エーゼット
所在地	大阪市鶴見区茨田大宮 1-7-59
担当者	営業部
電話番号	06-6915-3501
FAX 番号	06-6915-1202
緊急連絡先	住所に同じ
作成日	2011/08/06
改訂日	2020/05/01

製品名：AZ パーツクリーナー イエロー

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

エアゾール

区分 1

健康に対する有害性

皮膚腐食性・刺激性

区分 2

眼に対する重篤な損傷性・眼刺激

区分 2A

生殖毒性

区分 1A

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

区分 3（気道刺激性、麻酔作用）

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

区分 1（神経系、肝臓）

誤えん有害性

区分 1

環境に対する有害性

水生環境有害性・短期（急性）

区分 2

※上記の項目で「区分外」、「分類できない」、「分類対象外」のいずれかに該当するものは記載省略

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

H222: 極めて可燃性の高いエアゾール

H229: 高压容器：熱すると破裂のおそれ

H315: 皮膚刺激

H319: 強い眼刺激

H360: 生殖能または胎児への悪影響のおそれ

H335: 呼吸器への刺激のおそれ

H336: 眠気またはめまいのおそれ

H372: 長期にわたる、または反復ばく露による神経系、肝臓の障害

H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

H401: 水生生物に毒性

注意書き

応急措置 p.2 に記載

取り扱い p.2 に記載

保管 p.2 に記載

3. 組成及び成分情報
 化学物質・混合物の区別 混合物
 成分及び含有量 石油系溶剤(40-60%)、エタノール(1-20%)、噴射剤(LPG) (30-50%)
 化学式または構造式 混合物のため特定できない
 CAS No. 企業秘密のため非公表
-
4. 応急措置
 吸入した場合： 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。必要なら医師の手当を受ける。
 飲み込んだ場合： 口をすすぐ。無理に吐かせない。医師の手当を受ける。
 眼に入った場合： 水でよく洗う。コンタクトレンズを装着している場合、固着していなければ外す。十分洗浄後、医師の手当を受ける。
 皮膚にかかった場合： 水と石けんで十分、洗う。衣類が濡れた場合、直ちに着替える。濡れた衣類を再着用する場合は洗濯する。
 腫れ、痛みが生じる場合、医師の手当てを受ける。
-
5. 火災時の措置
 消火方法： 速やかに容器を安全な場所に移す。
 風上から消火する。
 消火に棒状の水を使用してはならない。
 初期の消火には下記の消火剤を用いる。
 消火剤： 霧状強化剤、泡粉末、炭酸ガス
-
6. 漏出時の措置
 保護具（呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、眼鏡、マスク等）を着用する。
 風上から作業する。
 砂、おがくず、ウエス、新聞紙等に吸い込ませて、回収する。
 土壌、河川、湖沼、海域、下水道等に流入しないように注意する。
 浸透性及び揮発性があるので、付近の着火源になるものは速やかに取り除く。
-
7. 取扱い及び保管上の注意
 取り扱い： 関係法令の定めるところによるほか、以下の点に注意する。
 炎、火花または高温体との接触を避ける。
 常温で取り扱い、その際、蒸気の吸入、原液の接触に注意する。
 屋外か屋内であれば通気性の良い場所で使用する。
 長時間の連続使用しない。
 必要に応じて保護具を着用する。
 使用後は手洗い、うがいを十分する
 保管： 屋内の直射日光が当たらない涼しい場所で保管する。
 ふたを必ず密閉する。
 ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触、同一場所での保管を避ける。
-
8. ばく露防止及び保護措置
- | | 管理濃度 | 日本産業衛生学会 | ACGIH(TLV-TWA) |
|-------|----------|----------|----------------|
| 石油系溶剤 | 設定されていない | 設定されていない | 500ppm |
| エタノール | 設定されていない | 設定されていない | 1000ppm |
- 設備対策 排気装置を設けるか通気性を良くする。
 身体洗浄、うがいができる洗浄設備を設置する。
 呼吸用保護具 必要であれば防毒マスクを着用する。
 保護眼鏡 必要であれば着用する。

保護手袋	長時間、または繰り返し接触する場合、耐油性のものを着用する。
保護衣	長時間にわたって取り扱う場合、または濡れる場合には耐油性の長袖作業服等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観等	無色透明液体
揮発性	あり
蒸気圧	データなし
密度	約 0.70g/cm ³ (15℃)
溶解度	水に不溶
引火点	21℃未満
発火点	データなし
爆発限界	データなし

10. 安定性及び反応性

可燃性	あり
安定性	安定
反応性	強酸化剤との接触を避ける。

11. 有害性情報

刺激性	眼に対して蒸気、液ともに刺激性があり、皮膚に対しても刺激性がある。繰り返しの接触により脱脂症状を生ずる。
急性毒性	石油系溶剤 LD ₅₀ >19634mg/kg(ラット) エタノール LD ₅₀ =7060mg/kg(ラット)
慢性毒性	混合物の分類に基づき危険有害性区分を分類した。
発がん性	有用なデータなし
感作性	有用なデータなし
変異原性	混合物の分類に基づき危険有害性区分を分類した。
催奇形性	有用なデータなし
生殖毒性	混合物の分類に基づき危険有害性区分を分類した。

12. 環境影響情報

分解性、蓄積性、魚毒性：混合物の分類に基づき危険有害性区分を分類した。

13. 廃棄上の注意

廃棄物処理法に従って自ら処理するか、産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合、そこに委託して処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号 1950
品名 エアゾール
国連分類 クラス 2.1
容器に漏洩、破損のないことを確かめ、荷崩れを起こさないよう確実に積み込む。さらに関連法令に従った措置も講じる(品名、数量、火気厳禁の表示、消火装置の設置 積み重ねの高さは3m以下にする等。)。
第1類及び第6類の危険物及び高压ガスと混載しない。

15. 適用法令

消防法・・・第4類第1石油類 危険等級Ⅱ
水質汚濁防止法・・・油分排出規制 (n-ヘキサン抽出分として)
海洋汚染防止法・・・油分排出規制 (原則禁止)
廃棄物の処理および清掃に関する法律・・・産業廃棄物規制 (拡散、流出の禁止)
労働安全衛生法・・・通知対象物：ヘキサン、エタノール
ブタン (噴射剤)
表示対象物：ヘキサン、エタノール
ブタン (噴射剤)
P R T R法・・・非該当

16. その他

参考文献

1. 化学品の分類及び表示に関する世界調和システム(GHS)改訂7版 (2017)
2. 日本規格協会 JIS Z 7253:2019、JIS Z 7252:2019
3. 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(nite) [GHS 関連情報]
4. 各原料の SDS

注意事項

この安全データシート(SDS)は入手可能なデータをもとに通常の取り扱いを想定して作成したものです。

SDS は安全の保証を約束するものではありません。

取扱者は状況に応じて使用してください。

SDS の内容は新たな知見により予告なく変更することがあります。
